

(1) 活動の名称

- ・ 耳納山麓の豊かな自然の中で、心と身体をはぐくむ

(3) 活動の動機と活動目的

- ・ 自然豊かな耳納山麓のふもとにある保育園です。園児の家庭環境は、家庭に畑はあるものの専業農家などは無く、家庭で土に触れる（野菜作り）という経験がほとんどありません。豊かな自然の中で、色々な体験をすることで「生きる力」を育めればと思います。
- ・ 生ゴミからの堆肥作りをきっかけに、畑での野菜作りを通して「命の循環」を考え、自然の恵みに感謝する心を育みたいと考えました。

(4) 特に工夫したこと

- ・ 5歳児（年長児）を中心に堆肥作りを行い、3,4,5、歳児で畑を中心とした野菜作りを行なう中で、種まきから収穫まで、水やりや草取りといった世話や、虫やイノシシとの知恵比べを行なうなどの活動を通して、「働くということ」「野菜も生きている（命を食べている）こと」を肌で感じる。
- ・ 命の循環を感じて欲しいので、昨年収穫し、取っておいた種から育てることから始め、収穫時期に来年用に種を取っておき、命をつなげていくことを子どもたちと一緒にやった。

(7) 具体的な活動内容・成果

初年度からコンポストでの堆肥作り活動を行なって来て、子どもたち（年長児）は特に、「堆肥作りは自分たちの仕事だ」という意識が強く、毎年受け継がれていく物になってきている。

命のつながりとして今年度のグリーンピース作りは、昨年取っておいた種から育てることにした。11月「この種は、みんなが夏に収穫したグリーンピースなんだよ」と子どもたちに見せながら説明。「緑色じゃない」などといいながらポットに植える。時々水やりをしながら様子を観察。芽が出てきたときは、子どもと一緒に「出てきたねー」と顔を近づけて眺め、喜んだ。鳥につつかれないようにとカバーをしたり、寒くないようにと藁で困ったりと作業をする。定植したところで一度、鳥に葉をつつかれてしまい「葉っぱ食べられてる」とショックを受けたことも。暖かくなり段々と葉も茂り、蔓も伸ばしてきてやっと安心することが出来た。毎日、堆肥作りの時に様子を見てきたことで、花が咲いたことや小さな実が付いたこと、少しずつ大きくなっていく様子などを観察することが出来た。収穫は一度にとは行かず、年齢ごとにしっかりと実の入ったものから収穫していった。収穫したピースは子どもたちが給食室にもって行き、「お給食に使ってください」とお願いした。その日から給食にピースが入っていると「これ僕がとったとやか？」「保育園の？」と普

段は苦手としている子も「保育園のよ」と知ると、「美味しい」と言って食べていた。また、剥いた皮はコンポストに入れ堆肥にすることで、「土に返し畑に帰す」循環を感じていった。






#### 反省 / 評価

- ・ 家庭から入ってきた子は、苦手な物が多いように感じる。しかし園で土に触れたり、種や苗から育てたり、自分たちで収穫するという経験を行なうことで、関心を持ったり、「食べてみようかな…」と意欲を出すきっかけになったりしたのではないかと思う。
- ・ 毎日、その日の給食を展示していることで「今日の　　は良く食べましたよ」と会話のきっかけになったり、「保育園の給食は良く食べているようなので、レシピを教えて欲しい」と依頼されたりと、保護者も食に関心を示してきているように感じる。
- ・ 散歩でとってきた季節の収穫物を子どもたちが持ち帰ることで、家庭にも季節感や今では珍しくなった味覚を届けている。

## 毎月のクッキング記録

ねらい 園で収穫した野菜や、自然の恵みを取り入れることで、食に関心を持つことができる。

月 / 内容	活動
<p>4月 よもぎ団子</p>	<div data-bbox="531 389 903 667" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="922 416 1262 450">近くの土手でよもぎ摘み。</p> <p data-bbox="922 510 1374 595">「葉っぱの後ろが白いのがよもぎよ」と、年長児が教えてくれます。</p> <div data-bbox="652 667 999 909" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1023 703 1385 831">ゆでたよもぎを混ぜ込む。 「よもぎの匂いがする」と春の香りを感じました。</p>
<p>5月 ちまき</p>	<div data-bbox="531 972 879 1234" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="890 992 1362 1167">「これ、食べたことある」 「はやくたべたいねえ」と会話を 楽しみながら散歩で採って来た笹で 包み、糸で巻いていく。</p> <div data-bbox="676 1245 999 1487" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1034 1279 1382 1406">「おいしい」 「おかわりしていい？」と 大好評！</p>
<p>6月 じゃがいも団子</p>	<div data-bbox="531 1536 927 1816" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="959 1570 1406 1794">「大きいジャガイモ入ってる かなあ」と楽しみにしながら 「うんとこしょ、どっこいしょ」と、絵本の「大きなかぶ」のように に抜きました。</p> <div data-bbox="676 1823 1023 2058" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1050 1856 1390 1984">ゆでたジャガイモを手で つぶしながら、「温かい」と 気持ちよさそう。</p>

<p>8月 フルーツポンチ</p>	 <p>カラスにつつかれたり、いのししに食べられたりと攻防を繰り広げたスイカ畑。 収穫出来たときは嬉しくて宝物のように大事に抱えて持ち帰りました。</p>  <p>切ってみると少し白かったけど、「ぼくたちがとってきたとよ」と自慢げ。</p>
<p>10月 野菜のふりかけ</p>	 <p>JA 婦人部による「ふりかけ隊」の指導でふりかけ作り。 ほうれんそう、にんじん、ごぼう、れんこん、赤ピーマン、のり、ちりめんじゃこ、しそ、たかならっきょう、しおこんぶ、 計 11 種類</p>  <p>ビニール袋に入れて、振ったりもんだり、たたいたり。 小さい子も一緒に、楽しく作る事が出来ました。</p>  <p>早速、お昼にお弁当にふりかけて「いただきま〜す！」 いつもより、食欲旺盛な子どもたち。</p>

- ・ 地域に自生している「よもぎ」や「笹」を利用して、「よもぎ団子」や「ちまき」を作る事が出来た。感触や匂い、食感など普段の生活の中では感じる事の出来ない体験をすることが出来たと思う。
- ・ 園で作り(にんじん、きゅうり、トマト、オクラ、じゃがいも、なす、すいか、ピーナツ、さつまいも、大根等)収穫した物を使った毎月のクッキングで、ますます親しみを感じる事が出来た。
- ・ JA 婦人部の指導で作った「野菜のふりかけ」は、家庭に持ち帰り、材料や作り方の説明を全部したり、家族に分けてくれる子もいれば、自分だけのと独占して少しずつご飯にかけて食べたりする様子がありました。また、野菜の味がしっかりしていてとても美味しかったととても好評でした。



## 活動の評価 / 反省

- ・ 園生活が短い子は、苦手なものが多いように感じる。しかし園で土に触れたり、種や苗から育て、自分たちで収穫するという経験を行なうことで、関心を持ったり、「食べてみようかな...」と意欲を出すきっかけになったりした。
- ・ 毎日、その日の給食を展示していることで、保護者に「今日の〇〇はよく食べましたよ」と会話のきっかけになったり、「保育園の給食はよく食べているようなので、レシピを教えて欲しい」と依頼されたりと保護者も食に関心を示してきているように感じる。
- ・ 散歩でとって来た季節の収穫物を子どもたちが持ち帰ることで、家庭にも季節感や今では珍しくなった旬の味覚を届けている。



グリーンピースの苗植え



いよいよピースの収穫！



皮をむいて給食に。

## \* 初挑戦

休耕田を借り、職員全員で開墾していく。はじめに戸惑ったのは、刈りばらい機の使い方……。エンジンをかけ刃が回りだすと、とたんに草が刈られていき、「うわぁ～」と声が出ました。「なんか面白い」が最初の感想で、職員みんなが使えるようにと小さな講習会を開き、一人ずつ練習していきました。耕運機も同じようにみんなで順番に使っていきました。なかなか前に進まなかったり、まっすぐ行かなかったりと大騒ぎして、草を刈り、耕して見回すとちょっと感動。早速、大豆と小豆を植えました。2、3日して見に行くと掘り返された跡。ここでもイノシシとの攻防が繰り広げられそうな予感です。芽が出てしまうまでドキドキしながら様子を見に行く日が続きました。網で囲い、ぐんぐんと背を伸ばしていく様子を子どもたちと観察していき、ようやく小さな花が咲いているのを見つけると、「わぁ～、花が咲いた。ちっちゃくてかわいいね。赤ちゃんみたい」と子どもたちが顔を近づけて見ていました。農薬を全く使用しなかったので葉っぱは虫食いだらけになり、本当に実が付くんだろうかと心配することもありましたが、大豆が出来始めると「これ見たことある。枝豆だ」と気付いた子どもたちだが、枝豆イコール大豆だと知った時は「えーっ」と驚いていました。まだ収穫にはいたっていませんが、大豆は「味噌作り」に、小豆は12月に行なう餅つきの後で「ぜんざい」にしたいと計画しています。



荒地を耕すぞぉ～！



大豆の芽が出ました



小豆のしゅうかく